

平成22年度 一般会計当初予算説明資料

4款 衛生費

4項 医薬費

医療政策課（内線：7228）

2目 医務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) ヘリコプターを活用した救急医療体制整備事業	(53,619)	(0)	(53,619)			<基金繰入金> (53,619)		
トータルコスト	56,039千円（前年度－）〔正職員：0.3人〕							
主な業務内容	3府県ドクターヘリ運航経費の負担、運航調整、医師搭乗型消防防災ヘリコプターの機器整備など							
工程表の政策目標(指標)	安心安全な医療提供体制の構築							

事業内容の説明 【「鳥取県地域医療再生基金」充当事業】

1 事業の目的・概要

県民の安心安全の確保に向けて重層的なセーフティネットを張るため、ヘリコプターを活用した救急医療体制を整備する。

2 主な事業内容

(1) 3府県共同ドクターヘリ運航事業 (19,975千円)

3府県（京都府、兵庫県、鳥取県）共同ドクターヘリの運航に係る経費を負担する。

【事業費の内訳】・人口割と利用実績割とに分け3府県で負担する。(19,730千円)

〔国庫補助基準額：209,831千円（国1/2、県1/2） H22年度から増額（H21までは167,840千円）〕

・3府県調整会議費（245千円）

【概要】①運航開始予定 平成22年4月

②基地病院 公立豊岡病院組合立豊岡病院

③運航範囲 鳥取県全域

④搬送病院 ドクターヘリの基地病院、他府県の搬送可能な病院

鳥取県内：県立中央病院、県立厚生病院、鳥取大学医学部附属病院】

(2) 医師搭乗型消防防災ヘリコプター運航事業(33,644千円)

消防防災ヘリコプターに医療チームが搭乗する「医師搭乗型消防防災ヘリコプター」の運用に必要な機器等の整備及び運航に必要な経費。

（単位：千円）

区分	用途等	金額	
機器等	イリジウム衛星電話	搭乗医師が病院に受入体制等の連絡をとる。	18,795
	医療機器収納ラック	ヘリコプター内の医療機器収納用ラック	6,174
	電源の増強	搭載する医療機器増加による電気容量の増強等	8,477
	計		33,446
運航に係る経費	医師傷害保険料、衛星電話料	198	
合計		33,644	

【概要】①開始時期 平成22年度早期

②搭乗医師 鳥取大学医学部附属病院救命救急センター医師

③医療機材等 人工呼吸器、患者監視装置（モニター）、携帯型超音波診断装置ほか必要な医療機材等を搭載する。

3 これまでの取組状況

平成19年12月19日以降、3府県（京都府、兵庫県、鳥取県）の医療担当部長会議やドクターヘリ運航調整委員会等において、共同運航、基地病院、費用負担、運航範囲、医師確保等について協議を重ね、平成22年4月の運航開始の目途がついた。